

データシート

アプリケーション

すべての従業員のスマートな決断を可能にします。

通信事業者の従業員は、自らが所属する部署の役割に応じて新サービスを企画し、マーケティングキャンペーンを行い、時折発生する音声品質問題の分析を行うなど、様々な仕事をこなします。従業員がスマートな決断をするために、xCentrix (エキセントリクス) は様々な分野に特化したインテリジェンスを提供します。エンドユーザが体感するサービス品質を戦略的に高め、インフラへの投資金額を最適化し利益の増大とネットワークパフォーマンスを最大にします

ネットワークのビジネスデータをインテリジェンス情報へ変換

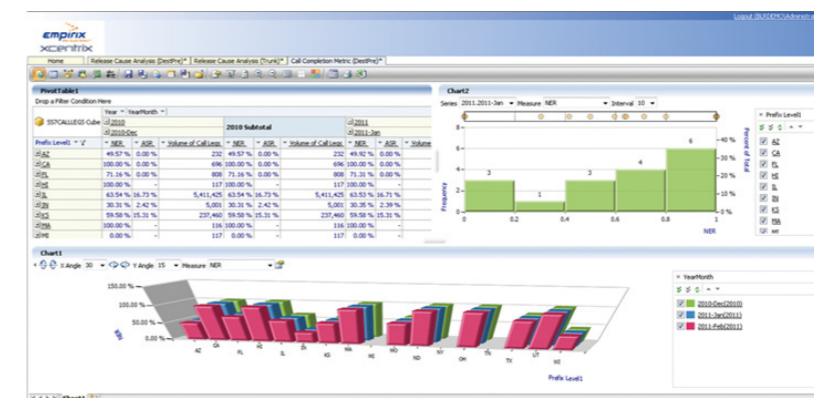
エンピレックスのxCentrixビジネス・インテリジェンス・レポートプラットフォームは、大量のデータを高速に処理し、各ユーザにとって“価値ある情報”に変換します。エンピレックスがこれまでに培った回線交換及びパケット交換といったテレコミュニケーションにおける豊富な知識を活用し、xCentrixは非常にビジュアルに富んだパッケージレポートを提供します。そしてそれらは、ネットワークパフォーマンスと真のユーザ体感品質を可視化します。

分析作業をより柔軟にするため、エンピレックスのxCentrix SS7分析パッケージは、エレガントなウェブベースインターフェースで、微小なイベントをドリルダウンし、多様なデータポイントやKPIを積み重ねていくことで、隠れた傾向を明らかにします。クエリー結果を待つ必要はなく、xCentrixは即座に答えを導き出します。

xCentrixプラットフォームは、多様なデータを関連付け、優れた分析データへと変えることができます。

実用的なインテリジェンス情報

- ・加入者体感品質の最適化
- ・有益な料金プランの構築
- ・エンドツーエンドのアプリケーション・パフォーマンスの把握
- ・新規サービスの評価と改善
- ・ネットワークリソースの負荷要因の特定
- ・効果的な設備投資計画の策定
- ・問題の根本原因の特定



顧客、ビジネス、ネットワークの問題を総合的に可視化します。

エンピレックス SS7分析パッケージは、xCentrix分析プラットフォーム上で事前に定義された優れたビジネスインテリジェンスレポートを提供します。エンピレックスxCentrixは、データをその場でスライス&ダイスすることにより、ユーザのオンデマンドレポート作成をサポートします。ユーザは、自らがもつ多様な要件を満たすレポートやダッシュボードをデザインするため、全てのデータ・ディメンション(データスライス)とメジャー(KPI:重要評価指標)にアクセスすることができます。

エンピレックのプロープから取得したSS7のCDR (call detail records) 保存と分析によって、包括的なマルチ・プロトコルレポートを提供できます。

データ・ディメンション	詳細
Protocol	ISUP, BICC, BT-IUP 等
Date/Time	通話開始時間 (15分単位)
Release Cause	マルチプロトコルの切断コードとその説明
IMSI MCC	モバイルカントリーコード (IMSI MCC)
IMSI MNC	モバイルネットワークコード (IMSI MNC)
Source IP Address	発側IPアドレス (ネットワークノードでデータスライシング)
OPC	発ポイントコード (Originating Point Code)
DPC	着ポイントコード (Destination Point Code)
Source Category	発ユーザ種別 (SS7/SIP 相互接続)
Destination Category	着ユーザ種別 (SS7/SIP 相互接続)
Routing NOA	ルーティング番号種別 (NoA: Nature of Address)
Source NOA	発番号種別 (国内/国際等)
Destination Number	着信番号
Carrier	キャリア種別 (ポイントコードによる)
Customer	顧客 (電話番号による: 発信元及び着信先)
Trunk	トランク (OPC/DPCのコンビネーションとCIC範囲による)

ユーザは、次のフィールドの更なるドリルダウンが可能です。

- ・ルーティング番号
- ・課金番号
- ・汎用番号
- ・転送元番号
- ・ルーティング番号計画
- ・発番号計画
- ・着番号計画
- ・通信路要求表示
- ・切断生成源
- ・MT2PA発・着IPアドレス
- ・M2UA発・着IPアドレス
- ・M3UA発・着IPアドレス
- ・ユーザテレサービス情報

特徴

- ・包括的、かつすぐに使用可能なSS7分析とレポート
- ・隠れた傾向をあぶりだすため、多様な視点からのディメンションやKPIをユーザがスライス&ダイスできるマルチ・ディメンションレポート
- ・データの意味を容易にビジュアル化するパワフルでエレガントなウェブベースGUI
- ・操作時に素早くレスポンス可能なハイパフォーマンス “大容量” プラットフォーム
- ・日付やイベント単位で設定可能な自動レポート出力
- ・レポート共有
- ・すべての職種、ポジション、ビジネス判断のためのカスタマイズ

次のメジャーは、どのディメンションの組み合わせでも使用できます。

Measurement Name	Description
IAM Attempts	IAM数 (コールの全数ではありません)
ACM counter	ACMの含まれるコール数 (呼び出し時間が0でない場合は、ACMがカウントされます)
Answered	ANMの含まれるコール数 (通話時間が0秒以上の場合に、ANMがカウントされます)
CLI counter	発信者番号 (Calling Party Number) の含まれるコール数
Busy Calls	理由表示が17の不完了呼数 (定義可能)
Failed Calls	理由表示が16,17,18,29,31の不完了呼数 (定義可能)
Short Calls	通話時間が設定値以下の通話数
Long Calls	通話時間が設定値以上の通話数
Call Duration(s)	通話時間 (秒)、完了呼の通話時間および話中呼の通話時間
Ring Time (ms)	呼出時間 (ミリ秒) (ACMからANMの時間)
Post Dial Delay (ms)	呼出遅延 (ミリ秒)、最終デジット送信から、呼出音もしくはビジートーン受信までの時間 (IAM からACMもしくはANMまでの時間)
Connect Latency (ms)	接続遅延 (ミリ秒) 呼の接続までにかかった時間 (IAMからANSまでの時間)
Disconnect Time (ms)	切断時間 (REL からRLCまでの時間)
Answer Bid Ratio %	ANM数/IAM数の割合
Answer Seizure Ratio %	ANM数/ACM数の割合
Call Completion Ratio %	切断理由がOKの呼の割合
Call Failure Ratio %	切断理由がFAILの呼の割合
Network Efficiency Ratio %	切断理由がエラーでない [16-19,21および27]呼の割合

エンピレックスのxCentrix SS7分析パッケージはあらゆるレポートを提供することで部署や職種に関係なくスマートな決断を可能にします。

標準パッケージレポートに含まれる機能:

- ・ユーザの要求に応えるためのマルチ・ディメンションエクスプローラ (GUI) 機能
- ・新しいメジャーメントを必要に応じて追加可能
- ・レポートはEメール送信またはExcel形式にエクスポート可能 (レポートからのイメージが抽出されます)
- ・自動的に任意のグループに配信

SS7分析パッケージ標準レポート内容は下記の通りです。

Call Completion Metrics by DPC/Release Causes	本レポートは、一定時間において呼量の多い上位30のDPCを表示します。呼量・ASR・NERのKPI指標により、DPCごとの完了率を把握できます。
Release Cause Analysis	本レポートは、一定時間において呼量の多い上位30のDPCのプロトコルエラーごとに表示します。DPCゲートウェイごとのプロトコルエラーの詳細・分布を確認することができます。
Call Completion Metrics by Trunk	本レポートは、一定時間において呼量の多い上位30のトランクを表示します。
Release Cause Analysis by Trunk	本レポートは、一定時間において呼量の多い上位30のトランクをプロトコルエラーごとに表示します。
Call Completion Metrics by Destination Prefix	本レポートは、一定時間において呼量の多い上位30の着信番号プレフィックスを表示します。
Release Cause Analysis by Destination Prefix	本レポートは、一定時間において呼量の多い上位30の着信番号プレフィックスをプロトコルエラーごとに表示します。